

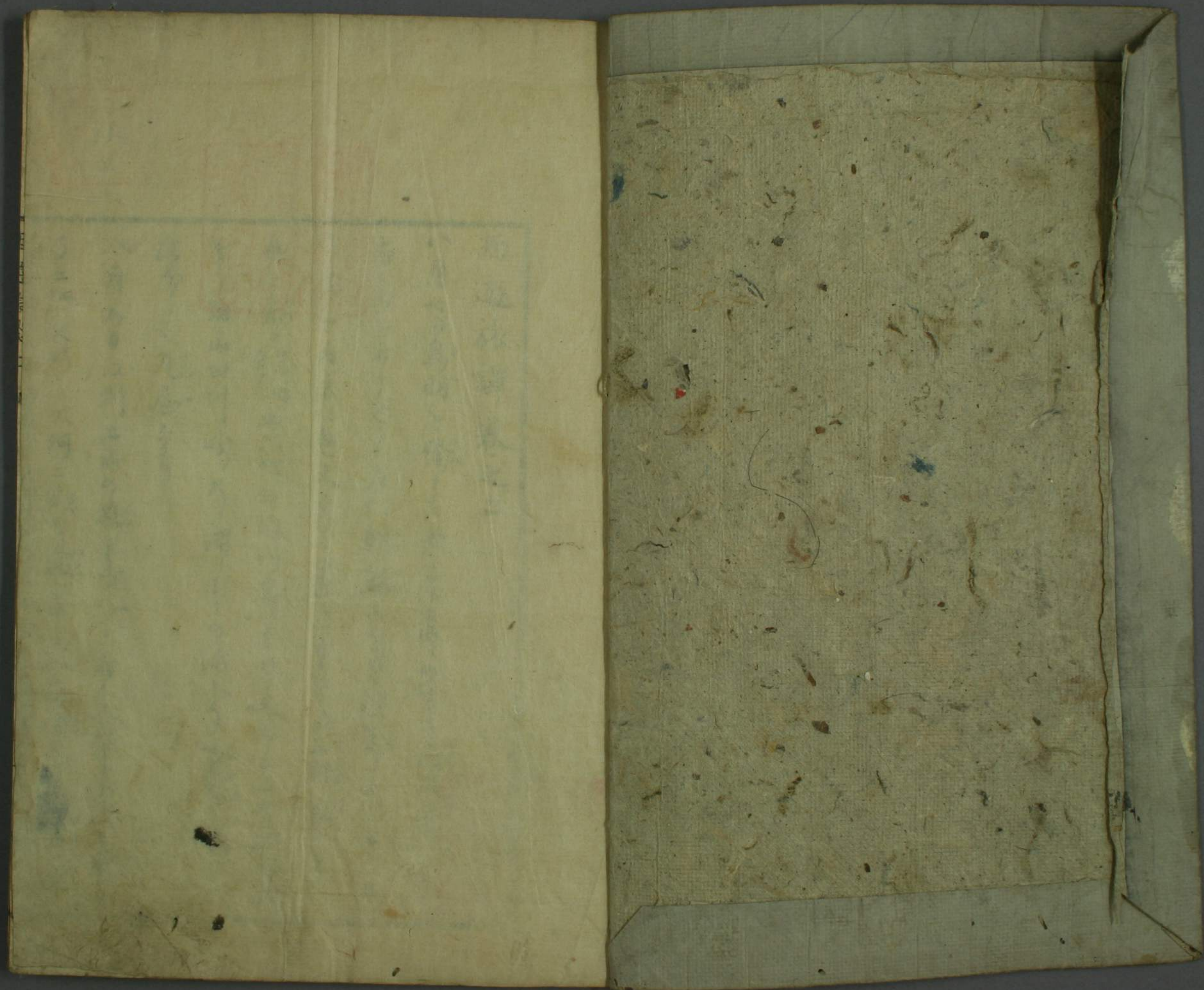
西遊旅譚

卷之貳

ル 3
334
2

特別
ル 3
334
2





門ル呂3
蹄 334
卷 2



西遊旅譚卷之二

八月七日鳥羽を發して舟を乗る處の方と波風景佳なり

舟を乗る處の方と波風景佳なり

舟を乗る處の方と波風景佳なり

舟を乗る處の方と波風景佳なり

舟を乗る處の方と波風景佳なり

舟を乗る處の方と波風景佳なり

舟を乗る處の方と波風景佳なり

舟を乗る處の方と波風景佳なり



百三十三卷之二

とよみ海人家のりるる平地を田畑のりるる日野に承るに数日すゆる人家二千餘軒四面山々海をみ見か藤原の領地なり



山田の町

八月十二日日野より一里解山路入小野村を其の山林を田夫の第舎をりる行厨をりる童子二二輩かろに朱の餅糖など與人出るに白茶の吹く名物一傍まで朱飯五六本の童子ハ畏て

小野村山中の小童



皂角子の木よ
土俗曰
むく魚
の血を
あま
あま

人魚墳



八方う
文字
又
土民の曰救世菩薩乃
墳と云小童ををが
うて鐘のまとい

西遊記 卷之四 西遊記 卷之四
 此の山に 山林の靈 纏々都の人乃美服 此一村四十余軒 又
 四五町 山徑 入路 四方 四隅の墳 救世菩薩
 の墳 又人魚を 救ふ 聖徳太子 萌御の時あり
 夫より 西乃方 不動堂 堂は 八方の墳あり
 是人魚墳 日本紀に 推古帝 二十七日 四月 四日
 又より 二里余 石塔村 生村 石垣 石 飛石 又石
 投田の 家の隅 九輪丸 石屋根形
 石塔の 片あり 移る 石塔 寺あり 石塔あり 石
 壇あり 石塔の 左あり 石塔 二十間 餘あり 石塔 四

方の平地より石乃大塔ありわづらにも石塔あり



不動堂
 カノ大樹

日野より二里余 寅の方より 前の川に 二間 移る

人魚墳
 文字
 子見



日野より二里^半の石塔寺の大塔乃圖
 大石を以て作らば天竺より釋尊
 入滅一百年の後月氏國阿育王八万四千乃
 寶塔を造り十方世界に授けり此塔
 今も千餘年を経
 ものふらふら
 總高ニ丈五尺余
 文字
 此塔昔の崩れを以て石塔寺と
 創立し此塔を以て寺とす
 此の山中人の造りし山一塔と
 遠くを望むれば見ゆ



石塔寺の圖

此をこの石塔
 嘉元二年
 彫り
 たり

石塔寺
 本堂

石塔寺の圖

日野ハ加藤彦ハ領地ハ此石塔寺ハ仙臺彦ハ千石ハ領地
夫より一里をこへ山ヲ入月を載て草中釣魚す
山々をこへ初更に日野へ歸る
日野町をこへ綿向の社とて其境内神輿庫乃南宮
封疆の裏に墳墓の如圖

延慶人皇九十四代花園
院乃年号也寛政二年
庚戌迄五百年ニ當
碑銘園點の字疑者也

飛
在
延慶三年十月十六日
願主日記重方

八月十五日石山寺に宿し月漸照て山湖水を繞り
橋見く佳景也
ウゴイト云魚ハスド大魚
蛤皆湖中ノ産ナリ



草津宿

石山より瀬田
乃橋を眺

瀬田の橋より
膳所乃城を望

十七日大坂より名を数日^{トニル}帰^{コウ}る
津の祠より西向を望み大坂への
見^ミる此地の^シ統^{トウ}事^ジ勢^{セイ}多^タく^クは^ハと^トる^ル
略^{リョク}す

高津の祠より見る図

高閣ハ西東乃本願寺也



芝居川筋
木津川

大坂天神橋
天は橋を
見し
城見
向東の方
此川筋淀河
は片々



天王寺石乃多唐銅の額
小野道風の華蹟
五重の塔
多々妙諸堂
清水観音の高き
彫り
埴見
皆如也
浮瀬
遊亭

福邊
法如
精業
心玄
南極
心玄

住吉
堺より
西の方
海也



大坂より船渡兵庫と十里摩耶山
下を走て則兵庫に名多市街富高
多々清盛の築高楠正成の塚あり和
田の岬行平乃松河
晦日須磨寺をこり敷盛の石塔を見



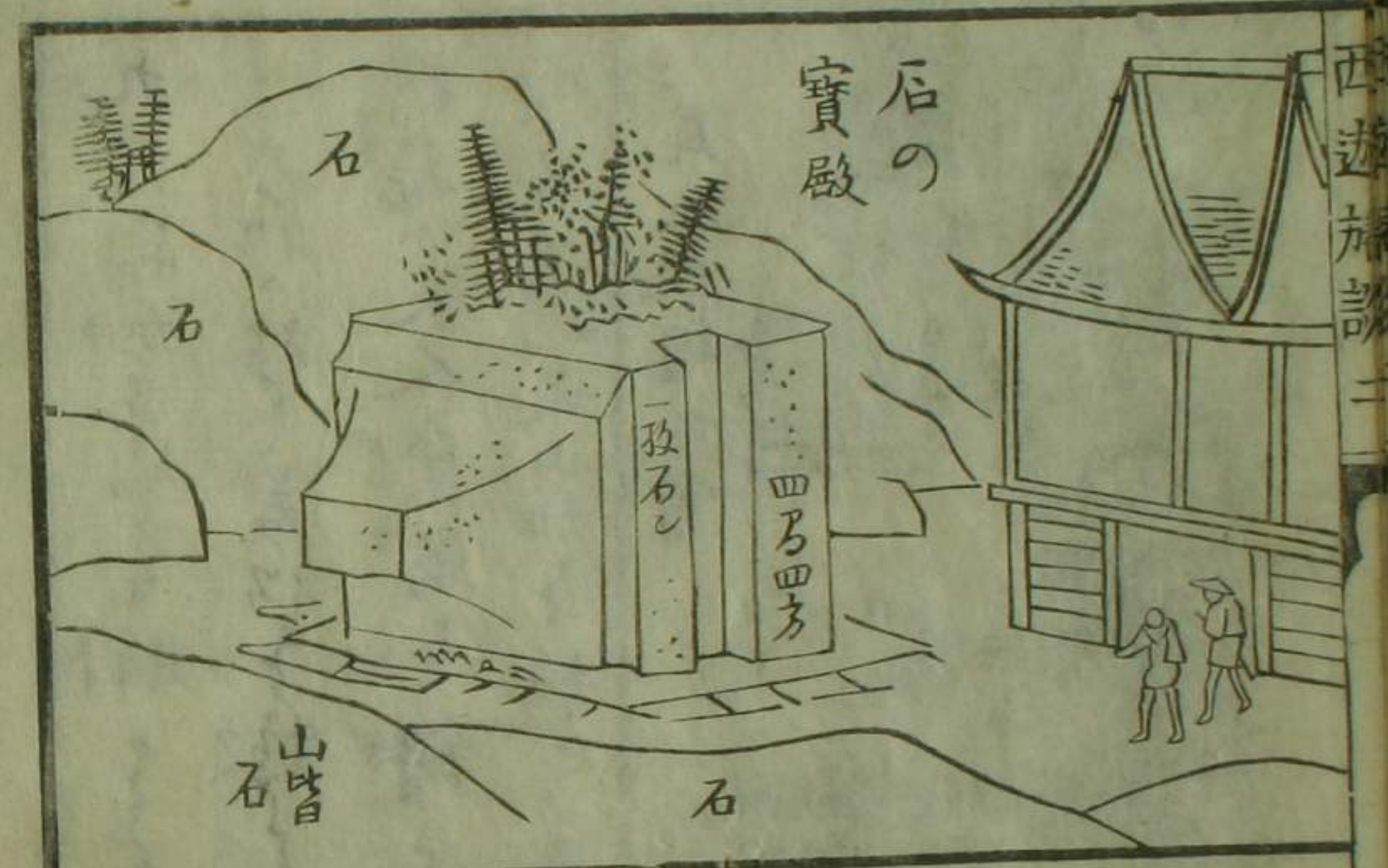


仲哀天皇の陵路傍
はる自天垂水の上千
壺と云ふ陵乃跡也
舞子濱松偃て道中
第一の佳景也まゝ明
石はか人丸の祠を門
へ石碑を建寛文四
年甲辰明石城主日向守
源信之と誌

九月朔加子川と云驛より左方に入尾上の鐘寺の松を
坊乃松は枯れ若松を移し尾上乃鐘支那物と云
撰録々天人樂器を鑄り
信吉の祠又山畑を越し石乃寶殿と云此を大石崎山をふ



尾上の鐘乃圖
則御影石也切也
曾根の松は天満の祠乃境
内を祠大社と云老松
實に千歳を纏う大樹也
夫より豆崎の驛より



曾根の松



市の川乃前より姫路に天守見
 せし下れはしるべきものなり
 川ハ二里片島の驛より赤穂三
 山ノ入赤穂往來に
行は南海を 数日城下は
 城内大石内蔵の屋舗門二已乃瓦
 五日新塔原より石を物
 岬の形は多岐を社古大松海
 を繞波濤漲を山連て風景佳
 舟出遊事三里坂越

こゝにあり船つき市中人家多し。八日赤穂を發して市街



をこゝへ山路入りり三里皆山林の
しそ谷狭其以杉首多し是を八木
山越と云片上り出る即は是を是りい
備前守し即部村焼物多し備前焼
かといふ不右の方小入半半里兩山
競て高き山嶽をそきて空より上り
草木と生一空軍は此もの不仁
と樵者め是を岡の塚ともいふ

何の所作るか知考し此山乃波方に二間三間又五六間
方なる塚大石を以て築てはる多し總之備前箇中
の國內古墳陵の形多し我ども注右の事とし伝記あり
此奥十餘町に寺あり観音を安置し飛泉を見大路と云
ありあり夫より四里あり岡山あり城下市街して富人多
京橋あり一二町を隔て二町あり多し其多し其多し
十日岡山を發してはる二里備前の備中の城あり其より
小一社あり吉備津の祠に奉る初穂銀を納れば火を鏡
其釜忽鳴動し其音也候なり方より其奇事あり

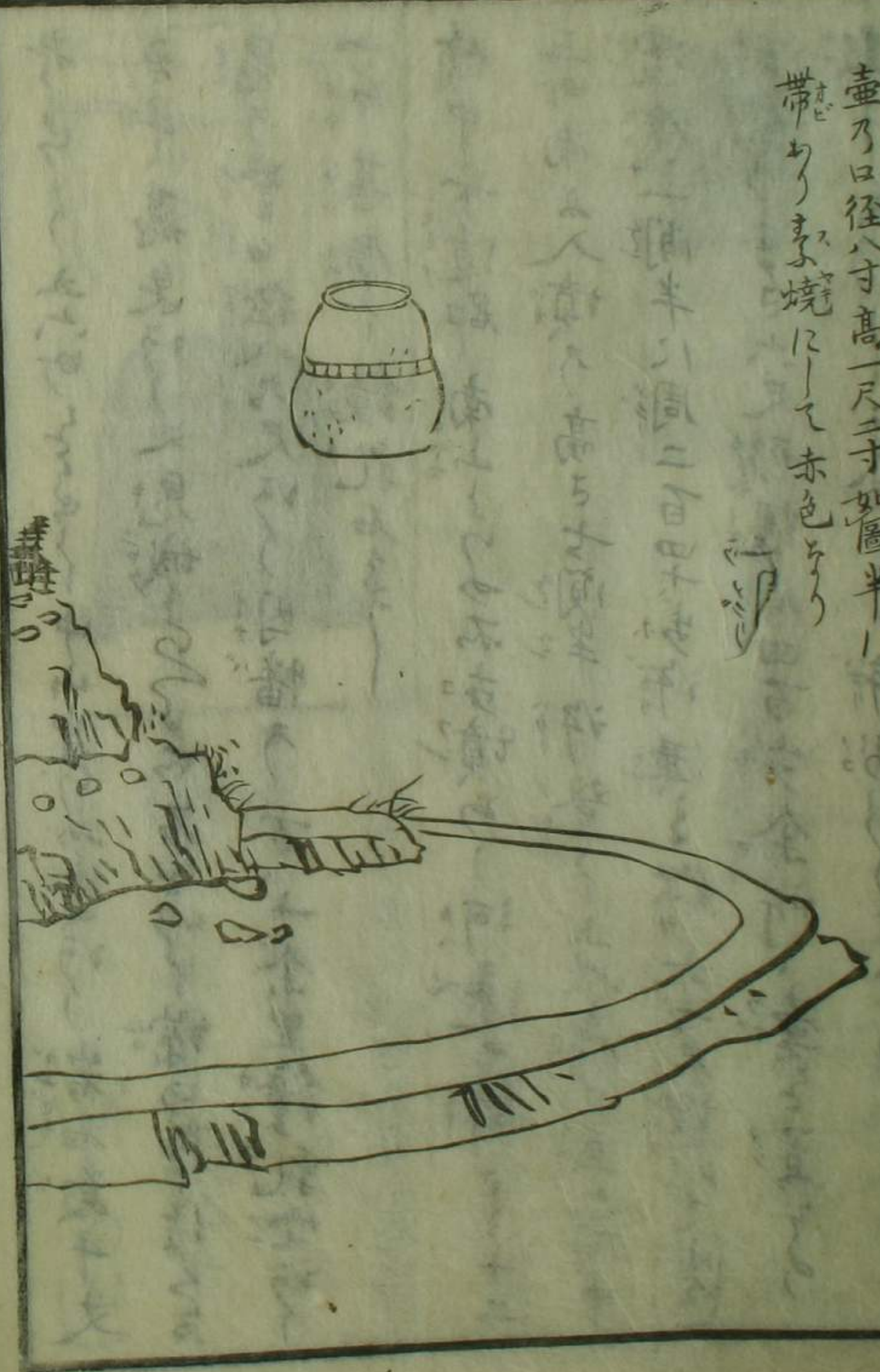
祠も遠く建さるるに二里方乃方入足守也木下
 侯^{コウ}二万五^{ニマンゴ}の領地^{リヤウチ}陣屋^{チンヤ}も黒宮^{クワクウ}氏の^{テイチウ}途中^{トウチウ}に^{トビ}石^{イシ}礎^{ソコ}を
 了^{コナリ}徑^{ミチ}二尺余^{ニシヤクヨ}是^{コノ}傍^{ナリ}中^{ナカ}足守^{トシモリ}賀陽^{カヤウ}郡^{クニ}溝^{ミヅ}手^テ村^{ムラ}賀陽^{カヤウ}寺^テ乃^{ナリ}古
 跡^{アト}より^{ホリ}堀^{ホリ}出^デる^ル手^テ年^{トシ}を^シ経^ルもの^ノ又^{マタ}徑^{ミチ}尺^{シヤク}五六寸^{シユウ}余^ヨ生^{ナマ}焼^{ヤキ}の^{ツボ}壺^{ウバ}を
 同^{ドウ}賀陽^{カヤウ}郡^{クニ}巖^{イハ}山^{サン}下^カより^{ホリ}堀^{ホリ}出^デる^ル外^{ソト}鬼^キ面^{メン}丸^{マル}を^カ見^ミる^ル肉^{ニク}を^シ以^テて^シ常^{ジョウ}



は^ハ見^ミる^ル地^チ領^{リヤウ}内^{ナイ}柏^{ハク}井^{セイ}と^シ所^{トコロ}
 足^{トシ}守^{モリ}より^シ一^{イツ}里^リ田^{デン}中^{ナカ}丈^{シヤク}四^シ方^{ホウ}雪^{セキ}の^{ツボ}不^フ積^{セキ}亦^{モト}黒^{クワクウ}宮^{クウ}氏^シの^イ發^{ハツ}起^キす^ル
 湯^ユ治^ヂ場^{バウ}と^シあ^ハり^ル浴^{ヨク}す^ル者^{モノ}多^{オホク}

於^オこ^コより^シ五^{イツ}六^{ロク}町^{テイ}を^シ過^スり^テ中^{チュウ}山^{サン}山^{サン}の^{トコロ}中^{ナカ}より^シ山^{サン}石^{シヤク}数^{スウ}十^{ジュウ}丈^{シヤク}
 有^{アル}る^ル飛^ヒ泉^{セン}の^{トコロ}又^{マタ}鬼^キ城^{シヤウ}と^シい^ハふ^ル石^{イシ}と^シい^ハふ^ル城^{シヤウ}の^{トコロ}中^{ナカ}に^シは^ハる^ル
 鬼^{オニ}乃^{ナリ}拳^{ケン}口^{コウ}徑^{キヤウ}八^{ハチ}尺^{シヤク}の^{トコロ}因^{イナ}幡^{ハン}乃^{ナリ}方^{カタ}十^{ジュウ}余^ヨ里^リ鐘^{カネ}乳^ニ穴^{アナ}の^{トコロ}
 穴^{アナ}中^{ナカ}甚^シ廣^{ヒロク}く^シ鐘^{カネ}乳^ニ石^{イシ}多^{オホク}し
 備^ビ中^{チュウ}下^ゲ道^{ダウ}郡^{クニ}南^{ナン}山^{サン}より^シ古^コ墳^{ボン}あり^ル河^{カハ}邊^ヘの^{トコロ}驛^{エキ}より^シ十二^{ジュニ}
 三^{サン}町^{テイ}南^{ナン}め^ニ入^{イル}墳^{ボン}乃^{ナリ}高^{タカク}さ^シ七^{シチ}間^{カン}半^{ハン}許^{ヨリ}登^{ノボ}る^ル上^{ウヘ}に^シは^ハる^ル巨^{キョウ}六^{ロク}間^{カン}中^{ナカ}
 壇^{ダン}廣^{ヒロク}一^{イツ}間^{カン}半^{ハン}に^シ周^{シユウ}二^ニ百^{ヒャク}四^シ十^{ジュウ}步^ブ許^{ヨリ}溝^{ミヅ}を^シ深^{フカク}六^{ロク}七^{シチ}尺^{シヤク}埋^{ウラ}め^ルを^シ以^テて^シ
 封^{フウ}疆^{キヤウ}乃^{ナリ}六^{ロク}尺^{シヤク}形^{カタチ}櫃^{ヒツ}周^{シユウ}四^シ百^{ヒャク}步^ブ余^ヨ所^{トコロ}に^シ壺^{ウバ}を^シ置^{オケ}く^ル
 數^{カズ}千^{セン}も^シあ^ハり^ルと^シ人^{ヒト}の^{トコロ}二^ニ十^{ジュウ}許^{ヨリ}あり^ル

壺乃口徑八寸高一尺二寸如圖半に
帶あり素焼にして赤色なり



傷中下道郡二万里塚れ圖

塚のその後左右並に塘とて人今田とて

大墳離八間小墳高七間小墳大墳に傍て

穴あり其崩り空乃口廣さ六尺二三十年以

まて人這入しと云傳子に穴の内平す

凡十四五歩以石門あり石れ

扉ありとて是より底の方より

空ありて入りしとて上古乃

王侯乃墳とて



同山手村古墳あり十五六間許山み登て穴あり二間許に
あり八間四方天井石一枚あり
左右も一枚石也穴中
あり七尺

是より國分寺、
五町あり



九月十四日足守を發して長田村を過り窪木村より宗坐と云
 所人家つらき富商も多し夫より中原川を渡り岡田より
 至伊東侯の陣屋より程なく矢掛より出ると還り板倉侯
 領地人家續く此間吉備公の頃より夫より神龜今津此
 皆福山城見ゆる阿部侯石万乃領地より西は小江戸と云し
 ともなる市街縦横あり富商多し西は小江戸と云し
 藝州侯の領地此より船に乗舟を出ると東風を走
 事十九里夜よ入小島に泊り夜半東風吹く船を
 出ると明方小島に泊る船中より西南乃方を眺め月海波

を眺め多山ありと云く船中より船の方に立て其景を
 川と云ん此趣は紅毛油画法より好むなりと相風吹く
 川不入り猫屋橋より名所あり藝州侯の城下市街縦横あり
 則ち方見ると右の方より奥市場よりお倉見舞いより町を
 離れて海邊に出小島ありとて佳景なり一里半草津と云り
 此より楮台と云り漁舟より宮多岐渡海上三里宮島亘七里田
 畑より樹を伐り海舟より宮多岐を千余軒より市中鹿を放
 猿より宮多岐平相國清盛の創立也此より多岐事いん
 此日九月十七日大潮満ち廻廊乃燈火水面に映る

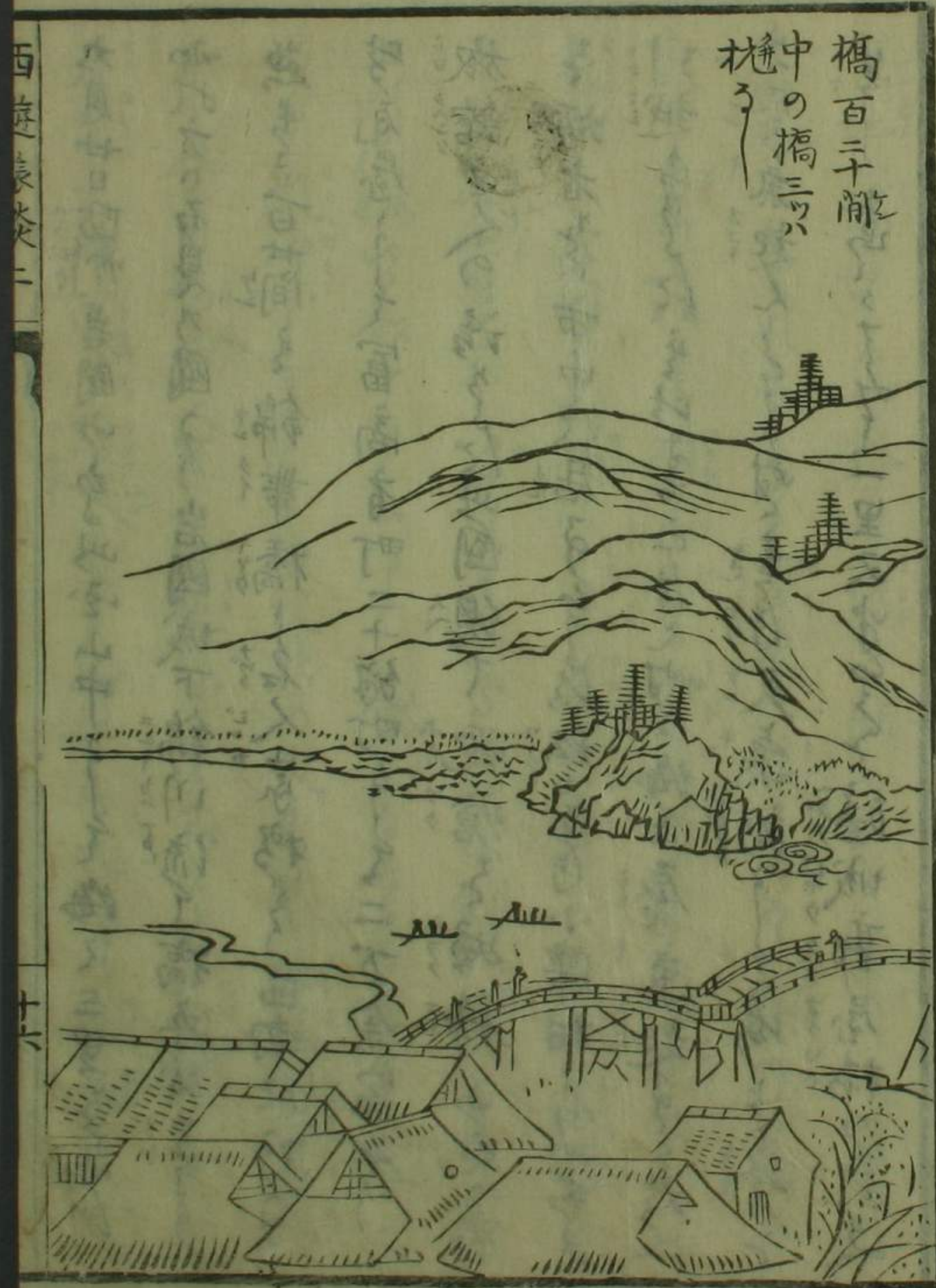
藝州嚴島宮之圖

彌山岳ミヤマケと云はく
山上に堂宮多し
未だミヤと云はく
登り事ミヤを禁む



左の方千チヨウセンと云はく
堂ドウの空カラ堂ドウと云はく
様サマあり





橋百三間
中の橋三ツ
棧

西遊記

十六



官身と物貯し
しるふに
驛 右の方一里入防
州 岩國
岩國 錦帯橋
の圖

此山を
城山と云

山
寺

西遊記

十五

九月廿日防州岩園あり此山の中より海へ三里を隔り
 此方石見乃國より岩國城下錦川流て橋立の海あり
 越も百廿間を錦帯橋と名人家橋とあり西南に河あり
 皆瓦屋をて富高者町二十餘町あり二万余家あり
 旅館主人の語るに此國總て疤痕を稀く疤痕
 を煩者市中に居るを以私家内小津村よりあり
 引越るものに此比其二月の時海上層氣起るに
 先層氣起るとして時々月天氣潮りて海上より
 生る島より一里又半ありと城郭屋橋の形又

ハ山上小塔多ハ竹林あり多と頭を直に雲に覆る
 島也又色れ赤とあり中凡淡墨の画あり堤の
 影を白上松とあり明らなる海を路村より海に面して
 あり小津村より横にあり多斜に此ありあり海遊
 たりお向時よりいつかをりて伏島長州の内又免あり
 上北関嶋皆船とけり和けり層をハ此ありのけり起り又
 此は大神とありお大神の人あり喰物或器物
 やこれの好むとあり起りてありてありてあり
 考忽大神風付ありてありてありてありてあり

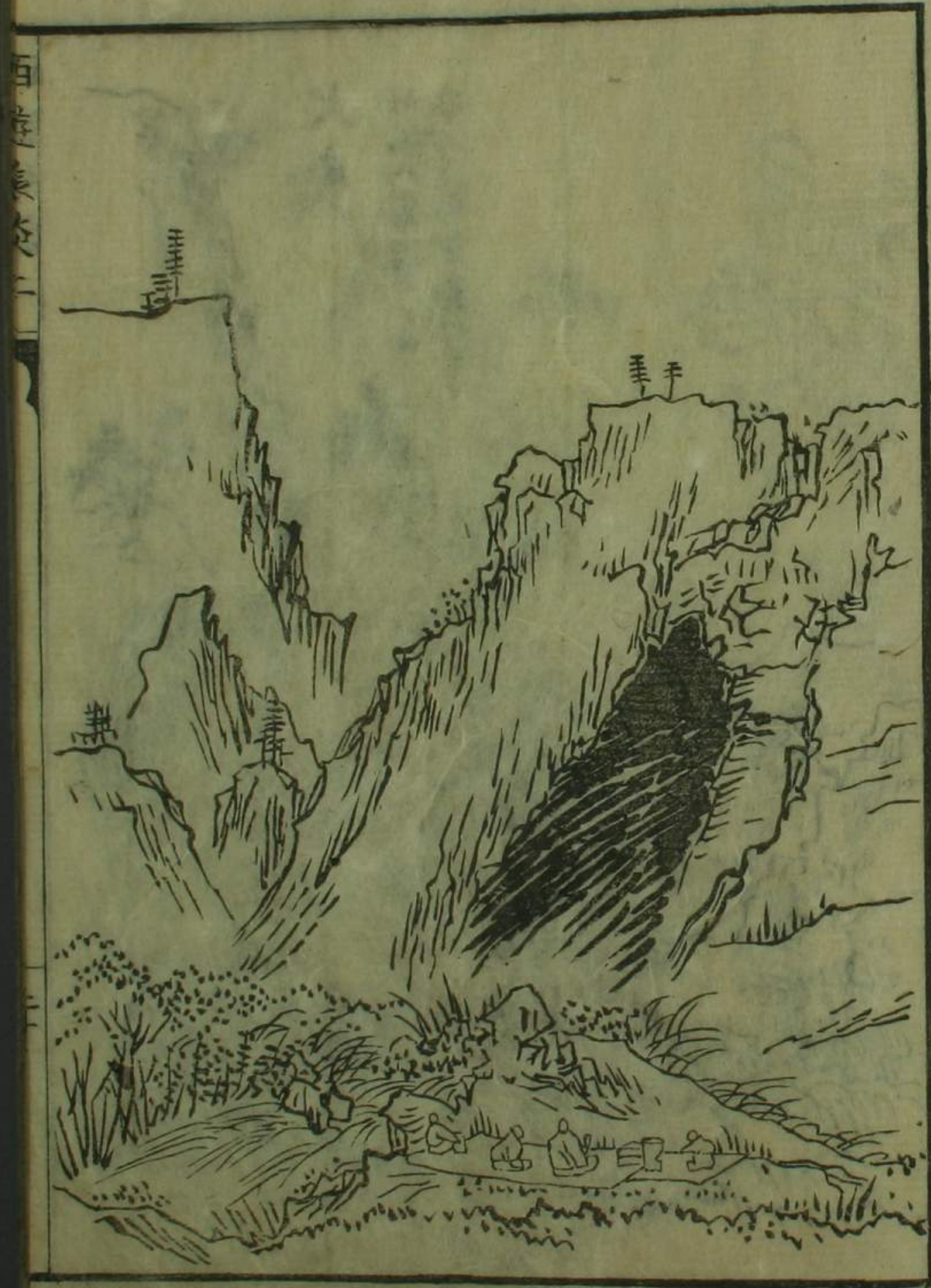
此の山は事々如^{シラガ}ぬきと^{サラ}人^トも^ス織物^{オリモノ}の具^グふ
 機^キの^チの^チ中^{ナカ}に^チ空^{カラ}を^チ穿^スり^テ水^{ミヅ}と^スて^シ波^{ナミ}犬^{イヌ}神^{カミ}イ
 る^ル外^{ソノ}に^チ有^アる^{ナシ}飲^イみ^テ息^イ息^イ犬^{イヌ}神^{カミ}の^チ若^{ワカ}き^ナら^ズも^ト同^ド而^シも
 可^シカ^ヒコ^トラ^フコ^トラ^フこ^トに^チあ^ハり^テ博^{ハク}學^{ガク}多^タ識^{シキ}の^チ人^{ヒト}を^チ理^リを
 少^シ紀^キを^チ理^リよ^シせ^シる^{コト}も^ト後^{ノチ}去^サる^{コト}なり

山^{ヤマ}國^{クニ}より^チ七^{ナナ}里^リ強^カク^ハ原^{ハラ}と^スて^シ水^{スイ}晶^{シヨウ}石^{シヨウ}英^{エイ}鐵^{テツ}
 生^ナじ^リ又^{マタ}生^ナら^ズる^{コト}に^チ地^チ倉^{クラ}と^スて^シ流^ナる^{コト}河^{カハ}と^スて^シ水^{スイ}底^{ソコ}皆^{ミナ}
 板^{イタ}の^チ如^ドく^シ岩^{イハ}と^スて^シ地^チの^チ喰^クひ^タる^{コト}故^ユに^チ名^ナ
 廿^ニ三^{サン}日^{ニチ}毎^ヘ五^イ時^ジを^チ錦^{キン}帶^{タイ}橋^シを^チ渡^{ワタ}り^テ川^{カハ}は^チ流^ナる^{コト}日^ヒ十^{ジュウ}余^ヨ

町^{チヨウ}船^{フネ}を^チ渡^{ワタ}り^テ五^イ六^{ロク}町^{チヨウ}入^リり^テ阿^ア品^{ヒン}村^{ムラ}を^チ夫^ツを^チ過^スり^テめ^ス
 八九^{ハチユウ}町^{チヨウ}山^{ヤマ}乃^ハ皆^{ミナ}に^チ入^リり^テ犬^{イヌ}皮^{モリ}と^スて^シ山^{ヤマ}骨^{ホネ}と^スて^シ一^{イツ}溪^キを^チ
 山^{ヤマ}石^{イシ}の^チ如^ドく^シて^シ石^{イシ}を^チ踏^{フミ}き^テ此^{ココ}を^チ秋^{アキ}を^チり^テめ^ス
 岩^{イハ}上^ノ草^{クサ}本^ホ紅^{ベニ}葉^{エフ}と^スて^シ山^{ヤマ}水^{スイ}画^ガの^チ如^ドく^シて^シ一^{イツ}里^リ余^ヨ
 彌^ミ山^{ヤマ}嶽^{ダケ}と^スて^シ山^{ヤマ}を^チ甚^ハか^ク嶮^{ケン}岨^ジと^スて^シ石^{イシ}を^チ踏^{フミ}き^テめ^ス
 車^{クルマ}一^{イツ}十^{ジュウ}一^{イツ}町^{チヨウ}余^ヨ餘^ヨ餘^ヨに^チ堂^{ドウ}を^チり^テ山^{ヤマ}神^{カミ}を^チ祀^{ヒツル}り^テよ^シ
 山^{ヤマ}を^チり^テ日^ヒ暮^ク旅^{リョ}館^{カン}に^チ入^リり^テ犬^{イヌ}皮^{モリ}右^{ミダ}乃^ハ方^{カタ}山^{ヤマ}を^チ越^ス
 水^{スイ}が^チ洞^{ドウ}の^チ鐘^{カネ}乳^ニ石^{イシ}の^チ如^ドく^シ



イヌ
モリ
犬
岩上松を生す



西遊記



犬吠

從前此處岩の肉洞あり
此路の岩をよぎ
十間廿間の大石多し

西遊記



岩の皴
民



大庚
此所ハ名傳身
谷乃流をわたり

九月廿七日岩國を發して山中に入程く海邊に出大賀岬と云
なり向に萩島八代島柱島等外小島數あり此より
蜃樓^{シニロウ}なるあり漁父^{キヨボ}に魚^{イサ}を得る此日天氣よくあり
其果して暮三月の如く島々空に浮ひて居り見ゆ
る程く八代島等あり其間小島あり其間小山あり
松島の如くあり漁父の曰是則蜃氣樓なりとや
るてやみぬ秋起る幸稀也板屋等あり其間小島あり
るらふ樓臺竹林の如くあり此の島の方より
いへるもこの島より自夫申す所と云て大島にあり

此路海邊にあり島々多くあり前島つて一里大島あり
十里小島小黒島小新五郎^{オホノエ}及島の數二百余あり
渚邊^{シヨウ}岩石多し風景佳七里砂濱也大島乃瀨戸山より
るる兩山高く其山間僅三四町あり其の海中岩石あり
出潮の流急し夫より山をたつて大島村にあり此處旅客
の通り絶てあり此の島より柳井津村に宿あり市
街^{カキ}丸屋岩國乃領地あり
廿八日柳井津をゆく其より二里半多武瀬村を過鶉
市と云兩人家あり紺を多し布を賣りて其より國木

山を越^ニて峠^ノ防州^ノ長州^ノの境^ノを^ル室積^{ト云}西山^ノ上^ヲより
 舟^ヲは佳景^也山^ヲを^リて人家^ノ千^餘軒^ノあり^て
 乃^ハ邊鄙^ノ倉店^ノあり^て松原^ニ里^ノ瀬島^田
 あり^て一村^ノあり^て旅^ノ旅^ノを^ル農夫^ノの^ノ舎^ニに^テ宿^ス
 九月^{廿九}日^ハ船^ヲ出^シて^ハ河^ノを^リて^ハ濱^ニ松原^ヲめ^ス
 半里^余皆^ハ砂^地なり^又海^ノ岬^ニ大石^ヲあり^て或^ハ斜^ニなり^て
 舟^ヲを^リて^ハ通^ル瀬^ノ戸^ノ水^ノあり^て濱^ノ濱^ノあり^て
 人家^ノあり^て毛利^氏徳^山の^ノ所^ノ地^ノなり^て戸^ノ石^ノあり^て出^シて^ハ
 舟^ヲを^リて^ハ徳^山に^テあり^て氣^ノを^リて^ハ四^里福^川より^ハ二^里半^ノ



大島の瀬戸

海^ノの^ノ瀬^ノに
 舟^ヲを^リて^ハ
 舟^ヲを^リて^ハ

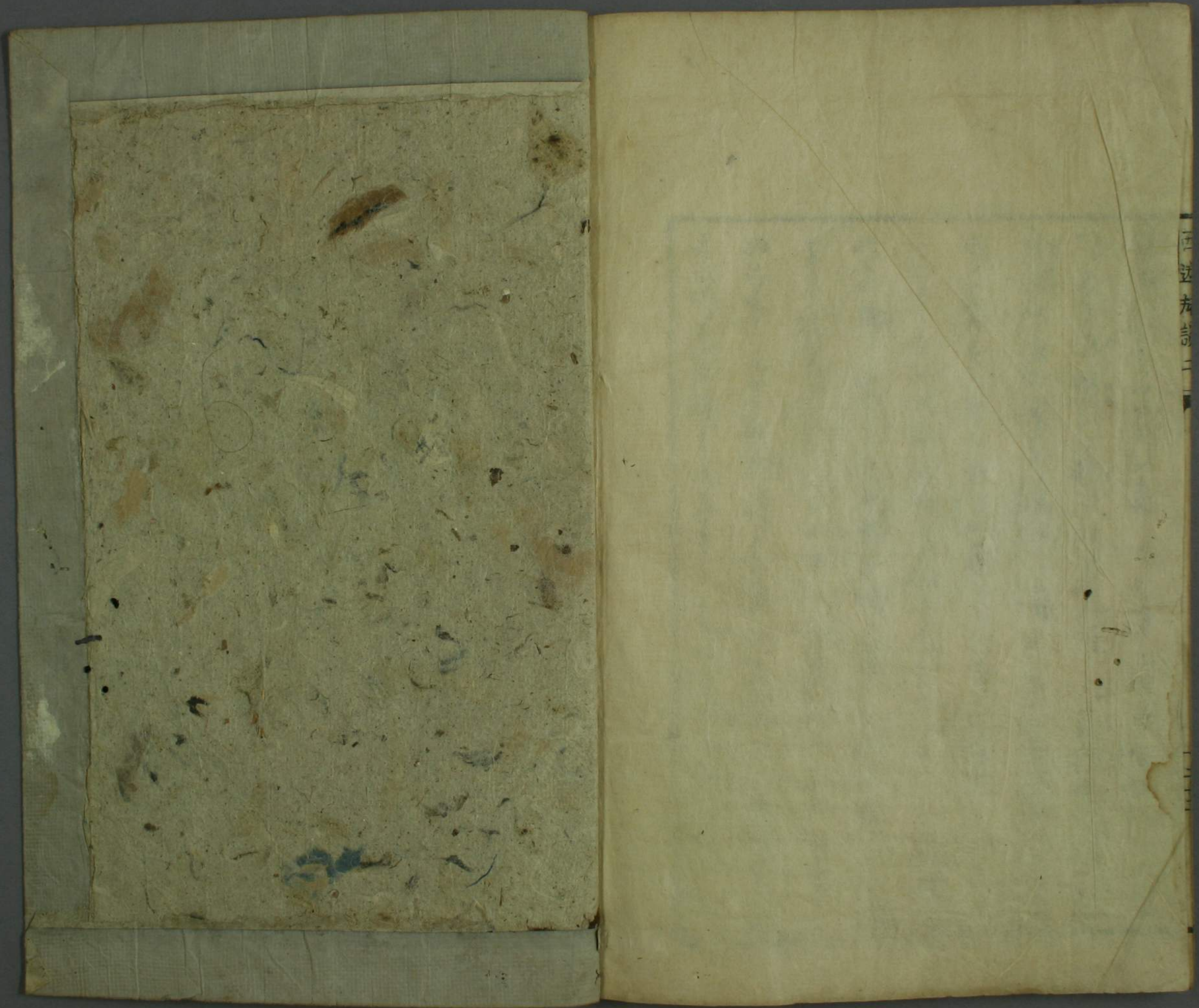


室積

山後豊

〽
 〽
 〽

富海に宿き^{トノミ}富海^{トノミ}城^{ハツ}を^{ハツ}行^{ハツ}事^{ハツ}二里半^{ハツ}官布^{ハツ}此^{ハツ}不^{ハツ}人家^{ハツ}
 つ^{ハツ}あり^{ハツ}佐^{ハツ}波^{ハツ}河^{ハツ}を^{ハツ}渡^{ハツ}り^{ハツ}右^{ハツ}の方^{ハツ}山^{ハツ}間^{ハツ}入^{ハツ}新^{ハツ}路^{ハツ}也^{ハツ}
 岩^{ハツ}洞^{ハツ}峰^{ハツ}佐^{ハツ}野^{ハツ}峰^{ハツ}を^{ハツ}行^{ハツ}事^{ハツ}七里^{ハツ}山^{ハツ}中^{ハツ}と^{ハツ}り^{ハツ}
 所^{ハツ}一^{ハツ}宿^{ハツ}き^{ハツ}山^{ハツ}中^{ハツ}と^{ハツ}り^{ハツ}行^{ハツ}事^{ハツ}二里半^{ハツ}二^{ハツ}股^{ハツ}瀬^{ハツ}川^{ハツ}
 を^{ハツ}行^{ハツ}事^{ハツ}吉^{ハツ}見^{ハツ}村^{ハツ}新^{ハツ}道^{ハツ}峰^{ハツ}を^{ハツ}船^{ハツ}本^{ハツ}の^{ハツ}家^{ハツ}つ^{ハツ}富^{ハツ}高^{ハツ}
 此^{ハツ}を^{ハツ}行^{ハツ}事^{ハツ}家^{ハツ}ご^{ハツ}に^{ハツ}石^{ハツ}炭^{ハツ}を^{ハツ}焚^{ハツ}途^{ハツ}中^{ハツ}と^{ハツ}り^{ハツ}臭^{ハツ}く^{ハツ}又^{ハツ}煙^{ハツ}
 多^{ハツ}く^{ハツ}山^{ハツ}腰^{ハツ}を^{ハツ}登^{ハツ}り^{ハツ}石^{ハツ}を^{ハツ}採^{ハツ}り^{ハツ}て^{ハツ}炭^{ハツ}を^{ハツ}
 扱^{ハツ}り^{ハツ}事^{ハツ}七^{ハツ}里^{ハツ}長^{ハツ}府^{ハツ}の^{ハツ}山^{ハツ}間^{ハツ}入^{ハツ}蓮^{ハツ}臺^{ハツ}寺^{ハツ}坂^{ハツ}
 吉^{ハツ}田^{ハツ}川^{ハツ}を^{ハツ}岩^{ハツ}園^{ハツ}と^{ハツ}り^{ハツ}行^{ハツ}事^{ハツ}七^{ハツ}里^{ハツ}長^{ハツ}府^{ハツ}の^{ハツ}山^{ハツ}間^{ハツ}入^{ハツ}蓮^{ハツ}臺^{ハツ}寺^{ハツ}坂^{ハツ}
 吉^{ハツ}田^{ハツ}川^{ハツ}を^{ハツ}岩^{ハツ}園^{ハツ}と^{ハツ}り^{ハツ}行^{ハツ}事^{ハツ}七^{ハツ}里^{ハツ}長^{ハツ}府^{ハツ}の^{ハツ}山^{ハツ}間^{ハツ}入^{ハツ}蓮^{ハツ}臺^{ハツ}寺^{ハツ}坂^{ハツ}



西法書二

